

# 平成18年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GPP)に本学の「ITによる経済学部教育の標準化と質保証」が選ばれる栄誉に輝きました

「特色ある大学教育支援プログラム(特色GPP)」とは、文部科学省が平成15年度から始めた、大学教育の改善に資する種々の取組のうち特色ある優れたものを選定するものです。

選定された事例は広く社会に情報提供されるとともに、他大学の取組の参考にもなることから、高等教育の活性化が促進されることを目的としています。

## 取組概要

●本学では、2002年からCampus Communication System(以下CCS)を導入し、学生・教員・職員との3者を情報ネットワークで結んだ教育支援を展開しています。  
●CCSには学生個人のポータルサイトが構築され、eラーニング手法を用いた「自学自習システム」が導入されています。

## 自己推薦AO入試における同窓会長推薦区分の設定について

自己推薦AO入試が9月以降に実施されますが、その中に同窓生子弟を対象とした同窓会長推薦による受験区分を設けます。自己推薦AO入試で受験をお考えの同窓生子弟は、同窓会事務局に推薦書発行についてお問い合わせください。

自己推薦AO入試は、学科試験等は実施せず、その代わり2回の事前面談を通し、学習意欲や目的意識の高い人材を求める入試です。事前面談では、大学入学後の目標確認や基礎学力・コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力・自己表現力などを計ります。エントリー方法は、左記期間中にエントリー用紙調査書(高校卒業・卒業見込者のみ)および同窓会長推薦書を併せてご提出ください。

## 自己推薦AO入試エントリー期間

第1期 9月21日(木)～10月5日(木)  
第2期 11月27日(月)～12月15日(金)

大学案内・入学願書等の請求、入試要項に関する詳細(質問等)ございましたら、入学センター(0561-4210339)までお問い合わせください。

●「経済学基礎知識1000題」は、本システムに組み込んだ経済学関連の設問群であり、経済学部カリキュラムと連動し、専門科目を担当する全教員によつて構築されています。

自学自習システムでは択一式設問とその解説を用意することで、いつでもどこでも繰り返し予習復習や勉強ができるようになりました。また、自学自習システムを利用した個々の学生データは学習履歴としてデータベースに蓄積されるため、教員はこれを参照してよりきめの細かい個別指導が可能となりました。

## 成果

本システムを導入することで、学生の学力と学習意欲が向上し、教育の改善が進みました。

## 大学ランキングで堂々のランキング

本学は、新聞および情報誌が調査した大学ランキングにおいて、様々な項目でランキングしました。

## 朝日新聞社「大学ランキング2007」

学生食堂 学生からの評価 全国1位

学内には2つの食堂があり、ボリューム、味、値段、栄養などを考慮し、多様なメニューを用意。学生の皆さんに満足してもらえよう工夫しています。

海外留学制度 留学生派遣16単位取得 74名 全国12位

留学協定大学は世界に62。留学情報、アドバイスなどNGU国際交流センターが強力にサポート。

※このランキングの他に、本学での長期・中期・短期を合わせた海外協定校への派遣学生総数は176名です。

AO入試 入学者(2005年度) 265名 全国15位

本学では体験入学AO入試、自己推薦AO入試の2タイプを行い、3日間の体験入学や教員との対話でキャンパスの雰囲気や授業を経験、NGUをより深く感じてもらうことができます。

## 「日経グローバル」2006.6.5号

大学の地域貢献度ランキング ランク1位

総合上位ランキング 私立大上位ランキング中部地区第2位

ボランティア活動、地域連携組織の拡充など、地域貢献への取り組みを高く評価、総合上位ランキング中部地区第2位(全国第33位)、私立大上位ランキング中部地区第2位(全国第9位)にランキングしました。

# 2006年度入試結果と2007年度入試について

本学の2006年度入試志願者数は、昨年度比、190名増の3,944名(2005年度2,754名)でした。志願者が増えたことで、一般前期入試の競争倍率は、商学科3.9倍(昨年1.7倍)、英米語学科4.3倍(同2.5倍)と昨年に比べ大幅に高くなり、新設の人間健康学部も人間健康学科2.4倍リハビリテーション学科に至っては10.3倍の高倍率となりました。

18歳人口が減少し、中部地区の大学が軒並み志願者を減らす中でこの結果となったことは非常に心強いことです。志願者増となった理由としては、この4月に「人間健康学部/人間健康学科・リハビリテーション学科」が新設されたことや名古屋キャンパス開設を来年に控え、その移転効果によるところもありますが、何より、本学の伝統、充実した国際交流(留学制度)、徹底した情報教育や最先端のIT環境、就職実績等が高く評価されているからだと考えています。

2007年度入試は、7月の編入学試験から既にスタートしており、8月の体験入学AO入試では過去最高の402名が申し込みをしました。ここ数年続いている

強いトレンドを示す幸先の良いスタートを切る事が出来ました。今後別表の日程で推薦入試、一般入試等が実施されますが、ご子弟の実力が十分発揮できる入試区分で積極的に受験していただければと思います。

なお、より多くの優秀な志願者を幅広く獲得するため、2007年度入試において左記のとおり入試会場等の変更をします。

- ①一般入試名古屋試験会場の変更：名古屋高校↓名古屋キャンパス
- ②一般前期入試地方会場の変更：岡崎、高松会場を廃止し、新たに豊橋・広島会場を設定
- ③人間健康学部 大学入試センター試験利用入試を導入
- ④一般後期入試 繰上げ合格制度を導入

学生募集においては、本学の伝統や教育内容をご理解され、本学の良さを十分に認識されている同窓生の方々の協力が必要となります。入学センターでは、本学PRのための大学案内・入試要項等を作成しておりますので、子弟の入試その他配布等でご入用の際は、入学センターまでご連絡ください。

## 2006年度入試結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済	経済	928 (61)	901 (58)	553 (43)	295 (22)
	政策	234 (22)	225 (22)	211 (22)	139 (9)
商	商	619 (88)	597 (85)	296 (52)	188 (28)
	情報BC	228 (55)	220 (50)	177 (46)	121 (29)
外国語	英米語	603 (296)	594 (293)	226 (128)	128 (70)
	中国語	97 (47)	96 (46)	98 (45)	38 (17)
	国際文化協力	136 (72)	131 (70)	128 (69)	49 (22)
人間健康	人間健康	262 (58)	258 (56)	172 (46)	118 (27)
	リハビリ	837 (175)	814 (171)	139 (42)	86 (24)
合計		3,944 (874)	3,836 (851)	2,000 (493)	1,162 (248)

※( )内は女子。 ※合格者数には、第2・第3志望合格者を含む。

## 2007年度入試日程(10月以降に実施されるもの) 学部

試験日	試験区分
10月14日(土)	体験入学AO入試本面接試験 特別試験前期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 一般推薦試験 スポーツ推薦試験(前期)
11月11日(土)	指定校推薦試験 一般推薦試験
11月12日(日)	自己推薦AO入試本面接試験(第1期)
12月2日(土)	自己推薦AO入試本面接試験(第2期)
1月31日(水)	スポーツ推薦試験(後期A日程) 特別試験後期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験後期
2月1日(木)	一般入試(前期1日目)
2月2日(金)	一般入試(前期2日目)
2月3日(土)	一般入試(前期3日目)
2月27日(火)	一般入試(後期A日程)
3月10日(土)	一般入試(後期B日程) スポーツ推薦試験(後期B日程)

※出願・エントリー期間等の詳細については、入学センターにお問い合わせください。

## 大学院

試験日	試験区分
10月22日(日)	英語学専攻 (修士課程:通信制Ⅰ期)
2月4日(日)	経済学専攻 (修士課程Ⅱ期) 英語学専攻 (修士課程Ⅱ期) 英語学専攻 (修士課程Ⅱ期)
2月10日(土)	中国語学専攻 (修士課程Ⅱ期)
2月11日(日)	経営政策専攻 (博士前期課程Ⅱ期) 英語学専攻 (修士課程:通信制Ⅱ期) 経営政策専攻 (博士後期課程)

(注)通信制の試験については、「書類選考のみ」